

# ロボコン「釣果」競う 周南で116チーム

市民のアイデア満載の手作りロボットのコンテスト「周南ロボコン2008」がこのほど、周南市学園台の徳山工業高等専門学校であった。市内を中心に県内各地から百十六チ

ーム百三十九人が参加。釣り堀をイメージしたゲームで、独自技術や操作を競った。十字形のステージで四チームずつゲームに挑戦。三分の競技時間で、スタート地点から

一・五分先にある直径七十センチの穴の中にある魚に見立てた空き缶をロボットのアームでつかみ、同三十センチの円に置いた数で勝負した。参加者は手元のコントローラーを慎重に操作



穴の中をのぞき込んで、空き缶を慎重に引き上げる参加者

して、自作のロボットで缶を運んでいた。初参加の小学三年石田竜生馬君(9)は「ロボコンは、五回目。今年が初めて後援し、参

難しかったけど、みんなと競争するのは面白い」と話していた。大会は徳山高専が年一回開き、五回目。今年が初めて後援し、参

加者が前年の二倍に増えた。(山瀬隆弘)

主な入賞者は次の皆さん。(敬称略)

【総合優勝】西村望(中学一年) 【部門優勝】河原新(小学四年) 【準優勝】立野裕暉(小学二年) 藤平裕樹(高専五年)